



西脇市長
來住 壽一

市立西脇病院は、昭和26年旧西脇町に開設以来、「親しまれ信頼される病院」を目指し、「親切、丁寧、思いやりを大切に」を目標として、患者サービスの向上と高度医療水準の確保に努めるとともに、医療需要の増大に伴い、数次にわたる施設や設備の改修を重ねてまいりました。

このたび、平成12年から取り組んでまいりました新病院改築工事が完成し、患者本位のサービスの提供、地域における中核病院としてのサービスの提供、災害時に救急医療の拠点となる整備を目的に病院づくりを進めてまいりました。

特に、北播磨地域では初めてとなる放射線治療装置（リニアック）を導入し、がん診療連携拠点病院として、その役割を担っていくこととなりました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ、市議会、医師会の皆様の絶大なるご協力の賜と心よりお礼を申し上げますとともに、国や県のご指導をいただいたことに深く感謝しております。

今後は、「地域に根ざし、市民に愛される病院」を目指して、高度医療を永続的に実現できる病院としてより一層努力を重ね、心ふれあう医療拠点となりますことを願い、「市民とともに」支えていく所存でございます。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



病院長
大洞 慶郎

市立西脇病院は、昭和26年3月に内科、外科、産婦人科、放射線科、歯科の5診療科、47床で西脇町立国保直営病院としてスタートしました。

この間、医療の進歩に伴い診療科の増設、病床や設備の拡大、充実とともに、320床の北播磨地域の中核病院として発展してまいりました。

新病院は、利用する患者様、家族が判りやすく、使いやすい病院を基本に設計を進め、スタッフステーションを取り巻くよう病室を配置し、各室にトイレと4床室でもベッドサイドに窓を配置するなどアメニティの向上に配慮しています。

また、外来では電子カルテシステムによる案内番号表示で患者様を誘導するなど最新のシステム化を確立し、診療体制の充実と患者サービスの向上に努めています。

今後も、「地域に信頼される良質な医療の提供」を目標として、医療技術の向上とともに、市民の皆様に愛される病院に職員が一丸となって、努力してまいり所存でございます。

関係各位のご協力に感謝するとともに、なお一層のご高配、ご指導をいただきますようお願いいたします。